

第3節 廃棄物の適正処理

1 市が処理するごみの種類

市が処理するごみは、市民の日常生活に伴って各家庭から排出される「家庭系ごみ」（一般廃棄物）と、事業所の事業活動等に伴って排出される「事業系ごみ」のうち「事業系一般廃棄物」です。また、「事業系ごみ」のうち「産業廃棄物」の一部については、品目・数量等を制限して市が処理を行っています。

2 ごみ処理の流れ

家庭系ごみは、一部の市民が直接木更津市クリーンセンターへ持ち込むことがありますが、ほとんどが市による地域のごみ集積所（ごみステーション）への巡回収集となっています。また、事業系ごみは、事業者が一般廃棄物収集運搬許可業者に委託する場合と、クリーンセンターに直接持ち込む場合があります。

燃やせるごみは、君津地域広域廃棄物処理施設で熔融処理（中間処理）され、燃やせないごみ及び粗大ごみは、クリーンセンターで破碎・選別等の処理を行った後、鉄・アルミ・小型家電等有価物については資源化、残渣類については君津地域広域廃棄物処理施設で熔融処理しています。

資源ごみのうち、びん・かん・ペットボトル及び容器包装プラスチックは、民間のリサイクル処理（中間処理）施設で選別・圧縮・梱包処理され資源化します。また、紙類・衣類については、直接、資源物として取り引きしています。

君津地域広域廃棄物処理施設で熔融処理した後に発生する熔融飛灰は、県外の民間最終処分場で埋立処分しています。また、熔融処理により産出される熔融スラグ・熔融メタルについては、資源として有効活用しています。

○ 君津地域広域廃棄物処理施設について

君津地域4市（木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市）で発生する一般廃棄物の中間処理を目的に、㈱かずさクリーンシステムを事業主体として設立された、第3セクター方式による広域一般廃棄物処理施設です。ダイオキシン類対策に優れた直接熔融システムを採用し、最終処分量を大幅に削減すると共に、熔融物（スラグ・メタル）は全量再資源化しています。

3 ごみ排出量

(1) ごみ種類別排出量

本市のごみの総排出量は令和元年度は台風15号・19号の影響による災害ごみの排出により増加したが、総じて横ばい傾向にあります。

ごみの種類別で見ると、燃やせるごみの令和3年度排出量は平成28年度と比較して約0.4%の増加、燃やせないごみは約2.8%増加、粗大ごみは約18.0%の増加、小動物は約17.3%増加、資源ごみは約2.7%増加となっております。

表 5-3-1 ごみの種類別排出量の推移

(t)

区 分	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
燃やせるごみ	46,315.64	46,104.38	47,051.66	49,084.21	47,584.19	46,483.32
燃やせないごみ	1,148.82	1,152.94	1,155.92	1,641.50	1,398.61	1,181.40
粗 大 ご み	1,410.49	1,458.07	1,526.28	2,226.50	1,921.18	1,665.00
小 動 物	24.96	27.38	31.74	30.28	28.82	29.28
資 源 ご み	5,857.21	5,602.50	5,318.95	5,217.26	5,940.45	6,016.8
資源ごみ集団回収	1,291.12	1,179.27	1,091.66	922.99	574.61	528.48
合 計	56,048.24	55,524.54	56,176.21	59,122.74	57,447.86	55,904.28
前年度比 (%)	△0.21	0.93	1.17	5.25	△2.83	△2.69

(2) ごみ排出源別 1 人 1 日当たりのごみ排出量

本市の 1 人 1 日当たりのごみ排出量の推移は、家庭系ごみは令和元年度と 2 年度は高い水準となりました。令和 3 年度は再び減少となり、前年度に対して家庭系が 5.4% 減少、事業系が 1.3% 増加し、全体で 6.1% の減少となりました。しかしながら、令和 2 年度までの数値では、全国・千葉県の平均を上回る結果となっています。

表 5-3-2 ごみ排出源別 1 人 1 日当たりのごみ排出量の推移

(g/人・日)

区 分	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
家庭系	木更津市	667	684	667	705	698
	千葉県平均	646	654	638	648	666
	全国平均	641	646	638	640	649
事業系	木更津市	458	458	472	492	459
	千葉県平均	256	259	258	257	228
	全国平均	279	278	280	280	252
合 計	木更津市	1,125	1,142	1,138	1,198	1,198
	千葉県平均	902	913	896	935	894
	全国平均	920	924	918	920	901

* 家庭系ごみには資源ごみ集団回収量を含みます。

4 ごみ処理にかかる経費

本市のごみ処理にかかる経費は、令和 3 年度において年間で約 27 億円かかっています。市民 1 人が 1 年間に排出するごみに対して約 2 万円の経費がかかっていることになります。

表 5-3-3 ごみ処理にかかる経費の推移

(千円)

区 分	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
収集運搬関係費	599,649	614,555	621,820	636,582	688,390	669,975
処理施設関係費	1,981,906	1,915,405	1,946,906	2,064,010	2,107,393	1,967,187
うち中間処理委託費	1,502,481	1,428,538	1,446,697	1,446,023	1,453,542	1,473,003
うち最終処分委託費	70,280	66,181	72,532	76,212	86,577	81,532
総務関係費	52,265	45,914	51,780	73,143	70,301	41,693
合 計	2,633,820	2,575,874	2,620,506	2,773,735	2,795,783	2,678,855
うち人件費	386,758	394,880	405,654	406,789	380,893	348,103
ごみ 1t 当たり経費	48,100 円	47,398 円	47,638 円	50,424 円	48,666 円	48,376 円
市民 1 人当たり経費	19,580 円	19,046 円	19,380 円	20,513 円	20,556 円	19,677 円